

下坂部小学校 だより

平成 29 年 2 月 9 日 第 14 号

学校長 今村 七美

住所：尼崎市下坂部 1 丁目 1 2-1

ホームページ：<http://www.ama-net.ed.jp/school/E07/>

平成 28 年度 学校活性化アンケート結果について

昨年末に保護者の皆様をお願いいたしました、「学校活性化アンケート」の結果をまとめましたので、ご報告させていただきます。ご協力いただきありがとうございました。結果は、全学年まとめたものを円グラフに表しています。

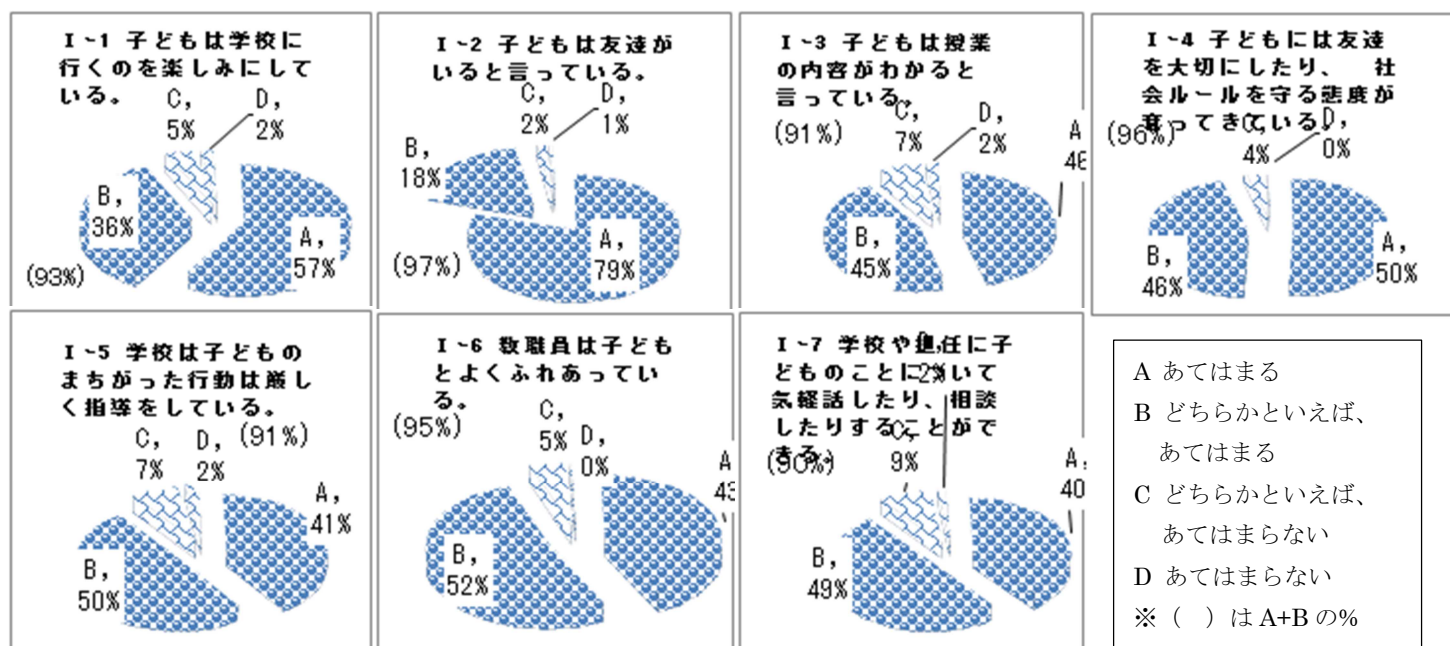
【I 教育活動に関すること】

本校では学校目標に「たくましく心豊かな児童の育成」を掲げ、生きてはたらく学力を身につけること、心豊かな人間性を培うこと、心身ともに健康でたくましい活力を養うことを重点的に取り組んできました。本年度も「I-1 子どもは学校に行くのを楽しみにしている」に関しては、昨年度 A+B で 90%だったものが、93%と増え「I-2 子どもは友だちがいてと言っている」に関しても、本年度 A+B で 97%で、昨年度と同様比較的良好な数値がでています。しかし、気になる C・D と答えた児童に対しては、学校としても心の居場所づくりに、より一層努めていかなければならないと考えています。

「I-3 子どもは授業の内容がわかると言っている」に関しては、昨年度 A+B で 89%だったものが、91%と若干向上しました。学力に関しては、いわゆる学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく身に付けることに加え、課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習が、これからの時代に求められています。今後とも、子どもたちの「わかる」気持ちを大切にしながら授業改善を進めてまいります。

「I-5 学校は子どものまちがった行動は、厳しく指導をしている」昨年度 A+B で 89%で今年度 91%、「I-6 教職員は子どもとよくふれあっている」昨年度 A+B で 87%で今年度 95%、「I-7 学校や担任に子どものことについて気軽に話したり、相談したりすることができる」昨年度 A+B で 83%で今年度 90%と、全ての項目で数値が上昇しています。今後とも、児童と教師、教師と保護者の信頼関係を築いていながら、教育活動を進めてまいります。

I 教育活動に関すること



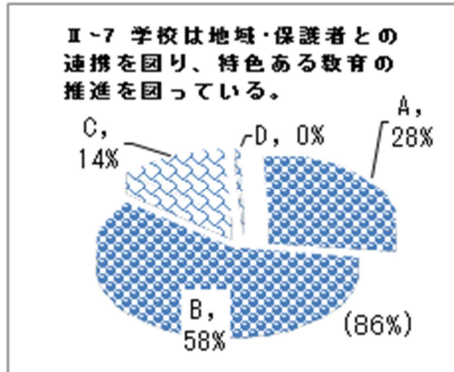
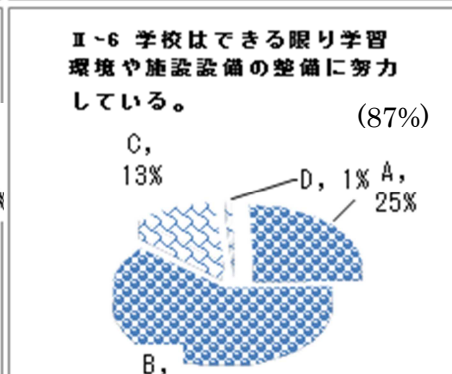
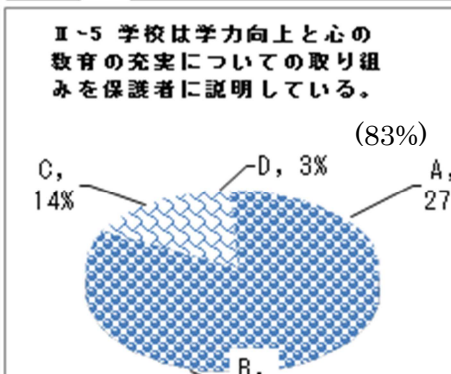
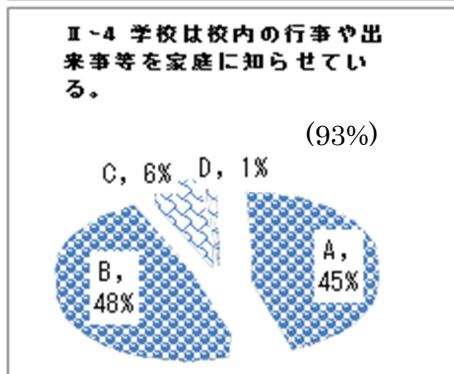
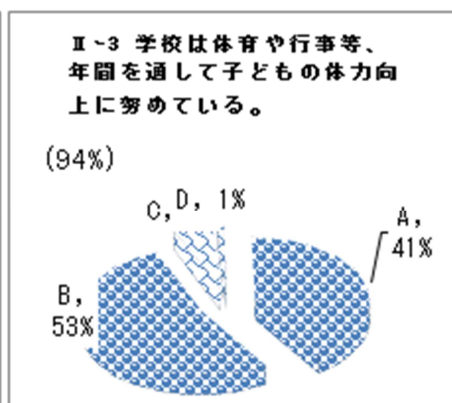
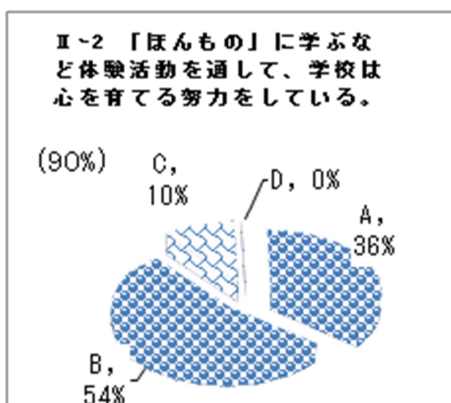
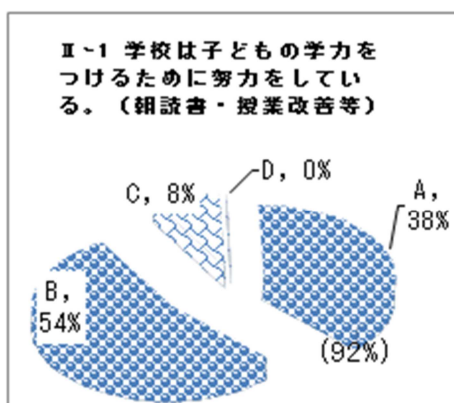
【Ⅱ 学校経営に関すること】

各項目のAとBを合わせると、どの項目についても80%以上の高い評価をいただいております。

「Ⅱ-4 学校は校内の行事や出来事等を家庭に知らせている」については、学校日より、学年日より等を通じてお知らせしてきました。先日実施した学校公開につきましても、例年よりもたくさんの保護者の方に参加していただきました。体育大会や音楽会だけでなく、日常の子ども達の様子も含め、よりたくさんの方々に見て頂くことで、子ども達だけでなく教職員も成長できるものだと考えています。

「Ⅱ-6 学校はできるかぎり学習環境や施設設備の整備に努力している」につきましても、創立139年を迎えた下坂部小学校では、校舎につきましても伝統ある建築で、その維持整備に関しては、必ずしも満足できる状況ではございません。しかしながら、来年度ようやく空調設備設置が決まっており、学校といたしましても、修繕整備に関しては、予算の厳しい中、市当局にも働きかけながら改善していくようにしております。

Ⅱ 学校経営に関すること

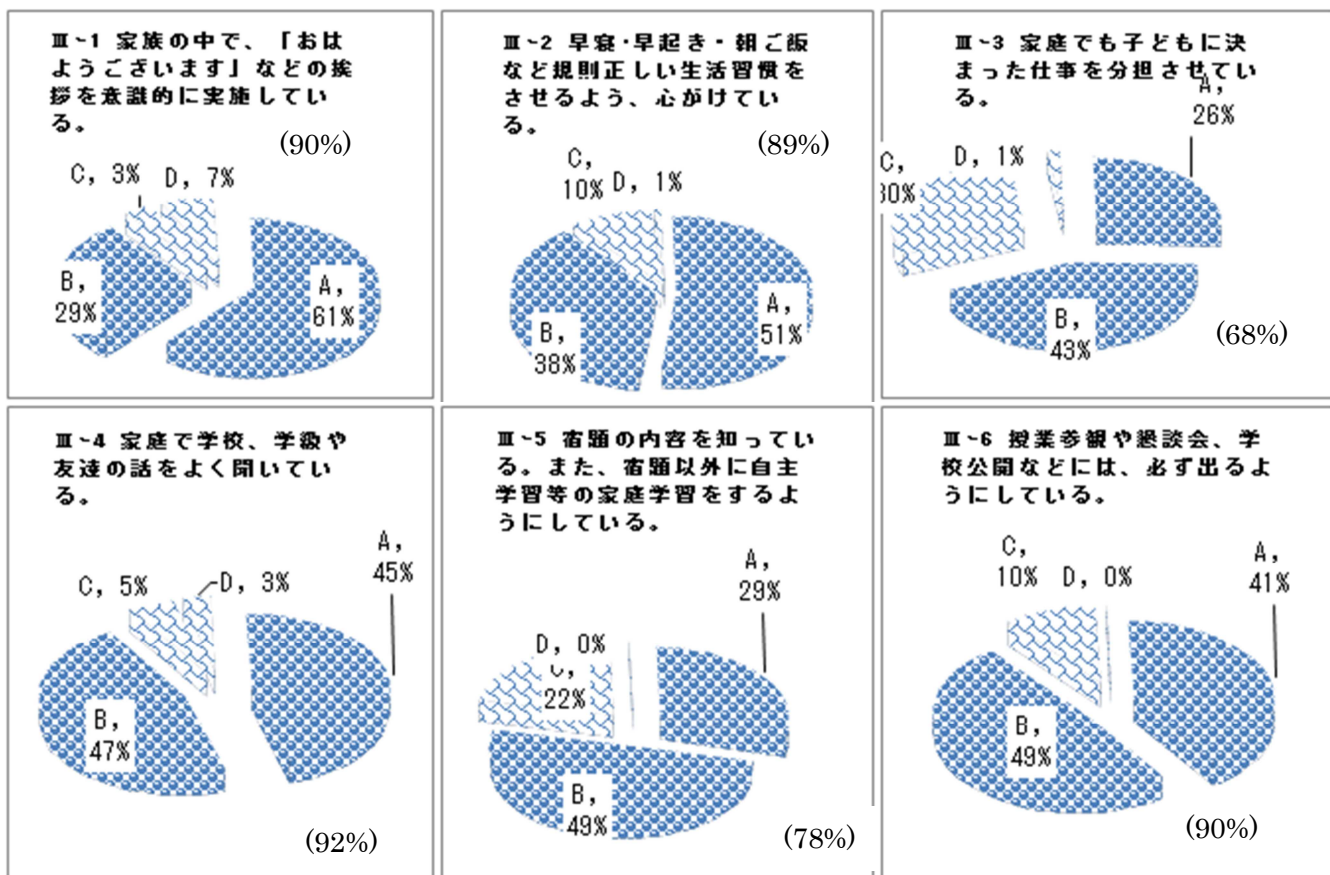


【Ⅲ 保護者自身に関すること】

「Ⅲ-1 家族の中で「おはようございます」などの挨拶を意識的に実施している」に関しては、昨年度 A+B で 96%だったものが、90%と少し減少しています。また、「Ⅲ-2 早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活習慣をさせるよう、心がけている」についても昨年度 A+B で 94%だったものが、89%と若干下がっています。家庭は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育は、すべての教育の出発点です。

「朝ご飯」に関して興味深い調査があります。「朝食を食べる頻度」と「何もやる気がおこらない」の関係の調査ですが、「毎日食べる子」で、26%が「何もやる気がおこらない」と答え、なんと「ほとんど食べない子」に関しては、51.2%の子どもが「何もやる気がおこらない」と答えています。【日本スポーツ振興センター調査】また、全国学力状況調査でも「朝ご飯」と「学力」との関係で、その重要性が指摘されています。学校で、子どもたちの持っている力を充分に発揮させるためにも、「朝ご飯」をすませてから、学校に送り出していただきますようお願いいたします。

Ⅲ保護者自身に関すること



今後とも、学校、家庭、地域が協力して子どもたちの成長を支えていけるように、ご支援ご協力をお願いいたします。



よく見る よく聴く よく考える

心やさしい 下小っこ

尼崎市立下坂部小学校
学力向上推進委員会№3

がんばる なかよく つよく に向かって学力からのアプローチ

毎年、全国学力調査の問題や結果より、いま求められている‘力’や本校の子どもたちに‘育っている力’や‘足りない力’を分析し、学習習慣や授業に生かしています。様々な取り組みの中から、一部をお知らせいたします。

ご家庭で子どもたちとよく話してみてください。

★学習習慣の定着

チャレンジできそうな目標を一緒に考えてみましょう。

- ・早寝・早起き・朝ごはん！の推進

月初めの1週間に、朝の健康観察で確認しています。まだまだ、達成率が低いです。

- ・学習用具をそろえて大切に使う

ときどき、筆箱の中身を点検してみましょう。

使いやすい筆箱にえんぴつ5本・赤鉛筆（3年生以上は赤ボールペン可）1本・消しゴム・マイネーム・定規（15cm程度の使いやすいもの）を入れておきましょう。名前も忘れずに。（落し物が多いです。）

- ・自主学習の推進

どんな自主学してる？がんばってるね！と声かけをお願いします。

毎日、自分で考えた課題（年度当初に配布した学習のすすめを参考にしてもよいですね。）をし自ら学ぶ姿勢と家庭での学習習慣をつけましょう。学習準備となる予習もおすすめです。

- ・宿題3点セット（音読・計算・漢字）

宿題で授業の復習や基礎的な力の定着をします。

〇〇の字がていねいに書けてるね、
などの声かけをお願いします。

★よりよい授業作り

- ・授業公開

先生たちが授業を見せ合い、よりよい授業改善に向け研修を行っています。

- ・下小スタンダード（授業スタイル）

授業のめあてを、一人で、グループで、みんなで考えて友だちと共に学習するよさを学び、互いの考えを認め合ったり、自分の考えを深めたりしていきます。

- ・‘ほんもの’から学ぶ

五感を使って、ゲストティーチャーや体験を通して学びを深めています。

感動や経験が人を成長させます。